

【平成29年度 校内研修について】

平戸市立大島中学校

1 研究の目的

- すべての生徒に基礎基本的な確かな学力を定着させ、主体的に学ぶ力をつける。
- 研修や授業研究を通して、日々の授業改善を図る。
- 研修を通して、自らの教養や指導力を向上させるとともに、教師の組織力の向上を図る。

2 研究主題（29年度）

『地域に根ざし、生きる力をはぐくむ教育の創造』

～自己実現をめざす個に応じた学習指導・支援の充実～

3 主題のとらえ方

本校ではこれまでも地域に根ざした体験学習を通じて、豊かな感性や思いやりの心の育成に努め、研修を積み重ねてきた。また、学習指導要領で求められている、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和を柱とする「生きる力」は、21世紀の知識基盤社会において重要性を増している。その際、我々が日々の実践を通してそれらを作り上げていくことが何よりも大切である。

本校は、各学年とも複数担任制をとり入れることで、少人数学級の特性に見合った、一人ひとりの生徒に応じたきめ細かな学習指導を日々実践している。

4 主題設定の理由

本校のある的山大島は、平戸市街から約15kmの沖合に位置し、豊かな自然に囲まれた島である。生徒は純朴で素直であり、何事にも協力的で労を惜しまない。

しかし、幼い頃から小集団の中で育ち、互いに顔見知りで競う合う場面も少なく、自ら主体的に判断し行動する力が十分に身につけているとは言えない。人前で自分を表現する力は少しずつ身につけてきたので今後も育成していきたい。また、基礎基本の定着や家庭学習の習慣等、個人差が大きくこれらを身につけることが何よりも課題となっている。さらに将来の職業や生き方につながる「学び方」を身につける必要も感じている。

(1) 学習指導要領より

学習指導要領においては、生徒に生きる力をはぐくむことを目指し、創意工夫を生かした特色ある教育活動が求められている。基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得し、それらを活用するために必要な思考力、判断力、表現力をはぐくみ、個性を生かす教育の充実が重要な目標となっている。

(2) 学校教育目標より

本校の学校教育目標は「思いやりと実践力を持つ人間性豊かな生徒の育成」である。中学校卒業後は島外の高校へ進学したり、就職をしたりするものも多い。将来、社会人として様々な時と場に対応できる実践的な力が試されることとなる。その際に必要な基礎基本を確実に習得させるとともに、自分に自信を持って自己を表現できる生徒を育てることが、本校の重要な課題と言える。

(3) 地域の願いより

本校の校訓は「郷土を愛し 明るく素直で たくましく」である。この校訓は、地域、保護者及び教職員の切なる願いを結集して設定されたものである。

高齢化が進み島内の人口減少が続いている今日、地域に生きることに喜びや誇りを持ち、郷土意識を高めて郷土への愛着を育てること、そして、他を謙虚に受け入れる広い度量を持ち、困難にめげることなく忍耐力やたくましさを身につけること、このような願いが、この校訓には込められている。また、地域のまとまりも強く「大島の子は大島で育てる」という土壌があり、これらの願いに真に耳を傾け、子どもたちの成長を図ることは本研究の土台をなすものである。

5 研究の仮説

各教科・領域において基礎・基本の確実な定着や言語活動の充実を図るために、授業のめあてやまとめを適切に定め、生徒一人ひとりの特性に対応した授業形態や学習指導・支援を工夫することで、自ら考え、主体的に学ぶことのできる生徒を育てることができるであろう。さらに、学ぶ意義や目的を持つことで、将来への見通しを持ち計画的に学習する態度が一層高まるであろう。

6 研究の内容と方法

(1) 授業改善

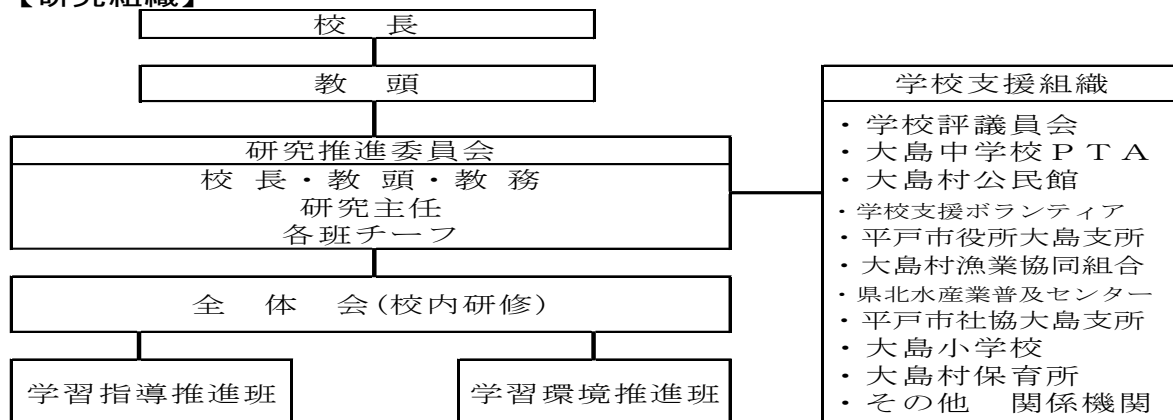
- 学校経営方針の努力目標である言語活動の充実、学力向上プランの方策「個に応じた手立てを考える」を中心として、各教科で授業改善に取り組む。
- 「豊かな心の育成」として『考える道徳』、『議論する道徳』にむけた道徳教育の充実を図る。
- 1人1回は研究授業を行い、その後授業研究を必ず実施し、成果と課題を協議する。
(教科だけでなく、道徳、学活で実施してもよい)
- 指導案様式の検討 ○学習状況調査の実施

(2) その他

- 各種研修会の伝達講習 ○読書活動の充実
- 学習規律や学習環境の整備
- キャリア教育としての進路指導（ガイドブック（しおり）の作成、フォーサイトの活用）
- 市学力調査、県学力調査及び全国学力調査の分析
- Q-Uテストの考察と生徒理解の推進

7 研究組織

【研究組織】



名称	担当	主な取組
研究推進委員会	校長 教頭 教務 研究主任 各班チーフ	○研究の全体計画の協議・推進
学習指導推進班	◎吉永 鶴崎、横田、 窪田、松本	○個に応じた学習支援 ○言語活動の推進 ○指導案形式の検討 ○授業参観の視点検討 ○研究授業の実施、研究協議の運営 ○学力向上プラン ○ICT活用の推進
学習環境推進班	◎山口 村井、大川、宮村	○学習環境の整備(学習規律の定着、教室環境等) ○ガイドブック(しおり)作成 ○学習状況調査等の見直し、実施、調査結果の考察 ○小中連携の推進
全体会	全職員	○現職教育研修 ○各種学力調査結果の分析

*日々の取組においては、研究主任を中心に全職員で実践する。

〈学校教育目標〉

思いやりと実践力を持つ人間性豊かな生徒の育成

〈めざす生徒像〉

心豊かで思いやりのある生徒 心身を鍛え、たくましい生徒 自ら学び、やる気あふれる生徒

〈研究主題〉

地域に根ざし、生きる力をはぐくむ教育の創造

〈副主題〉

自己実現をめざす個に応じた学習指導・支援の充実

学習指導推進班

学習環境推進班

各教科・領域における
研究授業の実践と授業改善

基礎基本の定着

言語活動の推進

きめ細かな個別支援

家庭学習の充実

体験学習と発表の場

読書活動の推進

キャリア教育の推進